



40th

Osaka Prefectural
Kashiwarahigashi High School
40th Anniversary Book

～ 熱く 厳しく あたたかく ～



目次	創立40周年にあたり 校長	2
	祝辞 同窓会会長	3
	創立40周年を迎えて PTA会長	4
	祝辞 河嵐会会長	5
	ごあいさつ 生徒代表	6
	写真で見る柏原東の10年	7
	10年のあゆみ	12
	未来の柏原東高生へ	29
	クラブ活動	30
	分掌の記録10年	38
	教職員一覧	50
	創立40周年記念事業 寄贈品	55
	編集後記	56

大阪府立柏原東高等学校



創立40周年にあたり

校長 水元 誠致

かつて頼山陽が「河内嵐山」と称賛したとされる景勝地であり、数多くの歴史遺産にも囲まれた高井田の地に、昭和52年春、府立第109高等学校として開校した柏原東高校は、本年栄えある40周年を迎えることができました。これもひとえに、大阪府教育委員会をはじめ、府議会、地元地域、本校同窓会、PTA、河嵐会等々の皆様方のご支援ご協力と、歴代校長、教職員の皆様の不撓不屈の精神と努力によるものと心より敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

本校は創立当初より、教育目標として「明るく、生き生きとした学校生活を通して、真理と平和を愛し、勤労と責任を重んじる、心身共に健全な、社会の有為な形成者を育成する。」、3つのモットーとして「(1) 自らの品位を高めよう。(2) 困難に打ち克つことに喜びを見つけよう。(3) 進んで公共に奉仕しよう。」を掲げて教育実践を進めてまいりました。その実践の成果として地域・社会の中核として活躍できる多くの卒業生を輩出してきたのです。

現在は、その歩みの中で培われた「柏原東高校の教育力」と平成23年度に始まる「柏原地域連携型中高一貫教育」を中心とした「地域連携による教育力」の相互補完・活性化による教育活動を展開することで、地域や社会に貢献できる人材を育成し、生徒・保護者・地域から愛され、信頼される学校を築き上げるために日々の実践を積み上げているところです。

さらに、本年より新たな公職選挙法が施行され、18歳選挙権が実現したことを受けて、生徒一人ひとりの自己実現に必要な学力、能力、態度を育むことに加え、地域・社会の一員として責任を果たすことができるような政治的教養を育成することも学校の重要な役割となってまいりました。特に3年生は在学中に選挙権を行使することとなり、知識の習得に加えて主体的な選択・判断を行い、他者と協働して様々な課題を解決していく資質や能力がより一層求められることになったのです。まさに、本校が創立以来掲げてきた教育目標で謳っている「社会の有為な形成者の育成」が、今社会的に要求されているといえるのではないのでしょうか。

私たち柏原東高校の教職員は、今後もたゆまない努力を続けていくとともに、この40周年を機に大きな飛躍をねらったより積極的な教育活動を実現していく所存です。そして、50周年にはさらなる成果をご報告することをお約束いたします。皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、創立40周年記念事業にあたり多大なるお力添えを賜りました実行委員会の皆様をはじめとする関係の方々、また本誌に原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申しあげましてご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

創立40周年記念実行委員長（同窓会会長） 近藤 日出男

柏原東高等学校、創立40周年、誠におめでとうございます。

柏原市唯一の公立高等学校としてその熱心な教育活動に40年間ご活躍され、この度記念式典を挙げていただけます事を心よりお祝い申し上げます。

さて、本校は昭和52年に開校し、私は第2期生として門をたたきました。開校当時は本校舎だけで体育館もなければ、当然プールも食堂もありませんでした。通学路も現在のように線路を渡るような安全なものではなく、大和川沿いの府道にある細い歩道だけで、最後には川沿いから見上げればそびえたつ山のような心臓破りの坂を登るという状態でした。あの坂を自転車で上がろうと必死になって挑んでいた生徒もたくさんいました。若さに任せた無茶なチャレンジだったと思います。学校の周囲は、現在のように住宅も立ち並んでおらず、また、交通量も現在ほどではありませんでした。そして数年が立ち、学校の施設・設備も現在のようにすべて揃っていきました。

私の在籍していた当時から、遅刻には大変厳しく指導されていて、その校風は現在も受け継がれ、遅刻の少なさは大阪のみならず、全国に誇れるものだと思っています。

これも一重に歴代校長先生をはじめ、諸先生方、PTA役員、地域の方々など多くの関係者の皆様のご協力の結果だと感謝しております。今後ご苦労は絶えませんが、継続して「熱く・厳しく・あたたかく」をモットーとしたご指導をいただきますようお願い申し上げます。

同窓会としましても、今後の活動をさらに活発なものにしていくとともに、学校や生徒の皆様のお役にたてるよう尽力してまいります。またこの度、創立40周年を記念して、体育館に設置した大型製氷機をはじめ、学校教育活動の支援として様々な用品や設備の寄進に協力させていただきました。また、教育活動の振興支援として、タブレットパソコンやwi-fiアクセスポイントを含めた教育ICTシステムの導入にも尽力させていただいております。ぜひ、日ごろの授業やクラブ活動、さらには学校広報活動に役立てていただきたいと存じます。

これからも柏原東高校のますますのご発展されますことを、心から祈念いたします。



創立40周年を迎えて

創立40周年記念実行副委員長（PTA会長） 泉 高弘

大阪府立柏原東高等学校創立40周年おめでとうございます。

柏原市唯一の府立高校として、今年40周年を迎えることは大変喜ばしいことと思います。これも、ひとえに校長先生をはじめ、諸先生方のご指導の賜物と存じます。また、歴代PTA役員の方々のご努力・ご苦勞もあったことと思います。

柏原東高校は山の上にあります、学校周辺のきつい坂道は、生徒たちの毎日の通学には大変だと思えます。しかし、大人になって振り返ってみるとこんなに環境のいい学校はないと気付くはずでしょう。私も柏原市で生まれ育ち、私の周りにも多くの本校卒業生の方がおられます。時々、思い出を聞くこともありますし、皆さんのほとんどが社会で立派に活躍されている方ばかりです。

近年子どもの人数が激減し、府立高校の再編整備も進んでいます。本校もその例外ではなく対象になるかもしれません。学校とPTA・地域の方々と協力して魅力ある学校にしていかなければならないと考えます。そして、地域の方々から「柏原市には、柏原東高等学校があるでしょう。」と言われるぐらい印象的で素敵な学校にPTAとしても最大の努力をしていきたいと思えます。

今年は、創立40周年であり、またオリンピックの開催年でもあります。これからも生徒たちの記憶に残ってくれるよう努力していくとともに、50年、100年と歴史を刻み、多くの卒業生が輩出され、立派な大人になり、また、その子供たちが本校に戻ってきてくれれば幸いです。

今年入学の生徒の保護者の中に、例年同様に柏原東高校の卒業生の方々がいらっやいます。以前に比べ、指導が厳しくなったとおっしゃっています。また、現在の柏原東に子どもを入学させて良かったとも言われます。保護者の方々が学校の味方になっていただき、ご家庭でもしっかりした指導と子どもたちへ学校の指導を理解させ、社会から「高校で立派な教育を受けてきた生徒」と誉めていただけるようになれば自然と良い学校になっていくと思えます。

最後になりましたが、創立40周年記念事業にご尽力頂きました多くの方々に深く感謝申し上げますとともに、子どもたちの未来のために今後とも皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。また、これまで以上にPTA行事に多くの方が参加して下さるよう祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

河嵐会会長 初瀬 勝彦

柏原東高等学校創立40周年おめでとうございます。また、この度は、創立40周年記念式典を柏原市リビエールホールにて挙行されますことを心よりお祝い申し上げます。

柏原東河嵐会（かしわらひがしこうらんかい）は、歴代のPTA役員・管理職の先生から構成する会で、主に柏原東高等学校PTAの充実と発展及び、親睦と文化的向上を図ることを目的としています。少しの間、めだった活動はありませんでしたが、今年度6月にあらためて会合を持ち、今後の活動について話し合いを持つことができました。これからは、生徒・保護者の皆様を力強く応援できるように頑張っております。

さて、少し前の話になりますが、PTA役員として活動させていただいた当時のことを思い出すと、たくさんの貴重な体験をさせていただいた時期であったと思います。体育祭・文化祭では、PTA実行委員の皆様がお忙しい時間を割いて生徒たちのために一生懸命走り回っておられたこと、社会見学会での楽しいお話しの数々など記憶に残ることばかりでした。私たちの柏原東高等学校は、自然環境に恵まれた中にあり、特に山河に囲まれた地形はユニークな学校といえるでしょう。また、山肌に面した敷地は、時には厳しくもあたたかく子どもたちを毎日見守ってくれていることと思います。これは、御校の学校教育指導方針「熱く・厳しく・あたたかく」と偶然にも相まっています。今後も子どもたちのご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

この10年間で社会は大きく変貌を遂げて来ています。今では当たり前となっている「携帯電話」は、ようやく一般化が始まり、その当時の利用料金などは今と比べ物にならないくらい高価なものでした。また、機材の性能や大きさなども現在流通しているものとは全く別物でした。そのような時代の流れとともに、今年度からは「18歳選挙権」がスタートし、社会においての高校生（18歳）への注目はますます集まることでしょう。河嵐会としましても、時代の変化に負けないよう皆様をご支援させていただきたいと思っております。

むすびになりますが、地域に根付いた柏原東高等学校が創立40周年の伝統を受け継ぎ、50周年、さらに先の未来へもご発展されますことをお祈り申し上げます。



ごあいさつ

生徒代表 武田 涼花

大阪府立柏原東高等学校創立40周年を迎えられたことを、生徒を代表して心からお喜び申し上げます。創立40周年という記念すべき年に、こうして皆様にごあいさつができることをとても光栄に存じます。私が今ここでごあいさつできているのも、在校生のみならず、卒業生の方々をはじめ、保護者の皆様、地域住民の方々が様々な場面で支えてくださっているからです。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、私は普段より『禍福は糾える縄のごとし』という言葉大切に生活しております。「わざわざしあわせは、縄がよりあわさるように入れ替わりながら訪れる」という意味です。最近ツイてないな、良いことなんてぜんぜんないなと感じる時もあると思いますが、この苦しい経験は幸せを感じるために必要なことなのです。では逆に、幸せがやってきた後には災いが来るのかといえば、必ずしもそうではありません。幸せが立て続けにくることだってあります。しかし、幸せがずっと続くことはほとんどありません。生きていれば、嬉しいことや楽しいがたくさん訪れます。しかし、辛くて、苦しくて、うまくいかないことも多々あると思います。しかし、これは幸せや喜びを感じる準備なのだと私は思っています。

私はこの柏原東高校で、楽しいことや辛いことなど本当にいろいろなことを経験させてもらいました。入学したときには、厳しさに圧倒され、この学校で3年間頑張っていけるか不安で仕方ありませんでした。そんなとき、1人で悩んでいる私を見て、祖父がこの『禍福は糾える縄のごとし』という言葉を教えてくれました。それ以来、自分が苦しくなったときには、幸せの準備期間だと自分に言い聞かせ、頑張れるようになりました。昨年の卒業式で送辞を読ませていただいた際、何を伝えればよいか分からず、悩む日々が続いていました。そんな時、「あなたらしくあなたが伝えたいと思うことを伝えればいいんだよ」とたくさんの先輩方に支えてもらい、無事に大役を務めることができました。卒業式後、先輩方にありがとうといってもらい、何よりも嬉しい思いをすることができました。

3年生になった今、改めてこの柏原東高校を選んで良かったと心から思っています。尊敬する先生に出会え、信頼できる仲間ややさしく手を差し伸べてくれる先輩方に出会えました。たくさんの出会いがあり、成長できるこの柏原東高校が、この先ずっと続いていけることを期待し、私自身残りの高校生活を全力で走り抜きたいと思います。



写真で見る柏原東の10年

「特別進学コース」(平成25年からの取組み)

“本気で難関大学進学をめざす”生徒が集まるクラブ活動形式の進学講習です。平日の7・8限・土曜日及び長期休業中に頑張っています。平成28年度大学入試では、近畿大学国際学部、関西外国語大学他、数々の大学・短大・専門学校に現役合格するなど成果を残し始めています。(開講式にて)



「B-up (ブラッシュアップ) タイム」(平成25年からの取組み)

毎週2回、月曜と木曜に短時間で集中した「自分磨き(ブラッシュアップ)の時間」を5限目と6限目の間の独立した15分間に実施しています。外部教材(国・数・英)を使ったまさに「学び直し」の時間です。スタート時よりも学習到達度が学校全体でアップしてきています。



校内研修 地域活動



平成27年度 生徒向け自転車交通安全教育事業 平成27年11月9日（月）

主催：JA大阪中河内 JA共済 柏原東高等学校 倉田プロモーション（交通事故再現スタント）

交通事故再現スタントによる実演を通じ、事故発生のメカニズム等を学習及び確認する機会となりました。



平成27年度教職員人権研修 「命の大切さを考える」 講演会平成27年12月10日（木）

講師：田畑 耕一 氏（TAV交通死被害者の会）をお招きし、本校教職員・生徒保護者及び柏原市立連携7中学教職員の人権意識向上のために実施しました。



地元青山台地域ボランティア清掃活動

毎年6月初旬と11月初旬の日曜日に生徒会執行部と運動部員を中心とした生徒が地域清掃活動に参加しています。地域に信頼される学校づくりをめざし頑張っており取り組んでいます。

柏原地域連携型中高一貫教育の取組み

【事業目的】

「地域で学び・育ち、地域を支え、次代を担う生徒をはぐくむ」という理念の下、「入りたい」「入ってよかった」学校をめざし、柏原市立の中学校と府立柏原東高校との間で、様々な連携教育活動を実施することとしています。

【経緯】

平成23年2月に中高一貫選抜を実施（40名の募集に対し61名が受検）し、平成24年4月から柏原東高校と柏原市立6中学校との連携型中高一貫教育開始されました。翌年度から60名募集になるとともに現在は柏原市立7中学となり、地域連携の絆はさらに深まっています。

【連携教育活動】

- ・年間5回の連携授業「書写・書道」を実施。11月16日に書道体験講座の実施。





- ・柏原東高校にて体験学習祭（書道・美術・理科・家庭・情報）開催。
- ・バドミントン部を中心に中高連携校との合同練習を実施。
バドミントン部・バスケットボール部等地元中学校との合同練習を月1回のペースで行っています。毎回2～3の中学校が参加し、柏原東高校の体育施設を使って合同練習をしています。また、平成28年度から「柏東（かしとん）カップ」バドミントン大会を開催します。
- ・部活動に係るデータ（顧問名、部員数、活動状況）を共有。合同練習等の交流を活性化。
- ・学校説明会、オープンスクールを3回実施（10月・12月・1月または2月）
- ・毎年中高書写・書道合同展覧会を開催（6中学校と柏原東高校の生徒作品をリエールホールに展示、優秀作品を教育センターに展示）。*H25年度より、柏原市教育委員会・府教育委員会後援



高大連携

連合教職大学院

学校実習・発展課題実習

大阪教育大学院 連合教職実践研究科からの大学院生2名（1・2回生各1名）が前期・後期約3週間の実践研究を本校で行っています。



学校見学・フィールドワーク

大阪教育大学教養学科2・3回生の学生約60名が毎年6月中の2日間に分かれて柏原東高校で登校指導体験、授業見学をします。

教育実習

大阪教育大学教養学科より教育実習生が（平成23年度より毎年2～3名：書道・美術）を6月初旬から2・3週間の期間を受け入れています。



留学生との国際交流

生徒会執行部が中心となり、相互の文化交流・体験実習を通して他文化理解を図るとともに、他言語でのコミュニケーション力を育てます。平成28年度からの事業取組みで、今後も活動内容の充実・発展に努力していきます。



府立高校教職コンソーシアム

大阪教育大学と教育系大学が連携し、「教員になること」を具体的にイメージできる機会を与えることを目的として、大阪府内の32府立高等学校間で結成され、本校もその中の1校として「教師の学び舎」へ本校教員が参加し、「作文コンクール」「キャンパスガイド」他には生徒が参加するなど活発な連携活動を行っています。

学校サポート活動

大阪教育大学より学校サポートを希望する学生約8名が本校独自の取組み「特別進学コース」の生徒の学習支援で活躍している。





地域公開講座

【事業目的】

「開かれた学校づくり」をめざし、平成21年度より、柏原市民対象の地域公開講座を毎年開講し、たくさんの市民の方々に参加されています。理科、美術・工芸科、書道科、家庭科、情報科及び保健体育科より各先生が講師を務め、和やかな雰囲気です。「ものづくり」「体づくり」を通じて地域交流を図ります。

【内容（これまでの講座）】

平成 22 年度	
書道	マイ掛け軸制作講座
書道	絵手紙入門・年賀状制作
情報	CAD 初級講座

平成 23 年度	
書道	マイ掛け軸制作講座
書道	絵手紙入門・年賀状制作
情報	デジタル写真のレタッチ講座
美術	籐あみのかご制作講座
家庭	超簡単！お手軽おもてなレクッキー制作講座

平成 24 年度	
書道	はじめての書道
書道	篆刻（てんこく）入門
美術	柿渋の染物入門①
美術	柿渋の染物入門②
家庭	製菓体験実習 オレンジのパウンドケーキ
情報	デジタル写真のレタッチ講座

平成 25 年度	
書道	はじめての書道
書道	篆刻（てんこく）入門
美術	藍染の染物入門
情報	デジタル写真のレタッチ講座

平成 26 年度	
書道	行書入門
情報	デジタル写真のレタッチ講座
美術	籐あみのかご制作講座
理科	はじめての科学実験講座

平成 27 年度	
書道	はじめての筆ペン講座
情報	デジタル写真のレタッチ（修正）講座
美術	木彫カトラリー制作講座
理科	はじめての科学実験講座

平成 28 年度	
書道	篆刻（てんこく）入門講座
情報	フォトムービーをつくろう
美術	藍染の手ぬぐい制作講座
理科	化学実験講座「酸素の力」
家庭	製菓実習講座 スコーンとリンゴのプリザーブ
体育	体づくり運動（ソフトバレー・ボールバドミントン）

理科 玉ねぎの染物



美術 籐あみのかごづくり



書道 行書入門



情報科 デジタル写真のレタッチ



31期生 平成19、20、21年度

先生も生徒も、
和気あいあい、31期





学年主任から一言

有本 勢以子



31期の担任団は1年スタート時、担任7名中初めて担任を持つ先生が3名、また女性の割合が7名中4名、学年主任の私まで女性でしかも初めての学年主任ということで、最初はどうかと不安でいっぱいでしたが、女性パワー+若さパワーに満ち溢れた楽しい学年団でもありました。困難な事象が起こった時には、担任一人が抱え込まず、情報を共有し、皆で対応しようということをモットーに乗り越えてきた学年団で、その団結力で最初の不安はいつの間にか払拭されていったように思います。

学校の指導が受け入れられなかったり、複雑な家庭状況を抱えている生徒もおり、卒業までに30名程の生徒が学校を去って行きましたが、それ以外の生徒は学年団の先生方のあたたかい指導で多くの経験を積んで巣立って行きました。

一番の思い出は、無理を言って、収穫期を迎えた10月初旬の東北方面に修学旅行に行かせて頂いたことです。行くまでは「なんで東北なん？」という生徒の声を耳にしましたが、民泊では農家の人たちの温かいおもてなしを受け、別れ際には涙を流している姿も見られ感動しました。また、わらび座で習ったソーラン節の踊りを、クラス毎にお揃いのハッピを着て競い合ったり、文化祭の学年企画で発表したりもしました。

生徒たちと年齢の近い若い先生方が、行事を通じて生徒たちに様々なことを体験させて下さり、経験豊かな先生方が時には父親や母親のように一人ひとりの生徒に寄り添い、時には厳しく指導し、また温かい愛情で見守りつつ対応して下さった和気あいあいな学年であったと思います。(お菓子と楽しいお喋りの絶えない職員室でもありました。)

学校の主な行事

- ◇男女制服全面改訂
- ◇修学旅行
岩手・花巻農家三民泊/秋田・たざわ湖芸術村
- ◇校外学習
1年 紀北青少年の家・校内でレク
2年 信貴山のどか村
3年 奈良公園・USJ

平成19年・社会の動き

- ◇松坂大輔選手大リーグ入り
- ◇年金記録の不備発覚
- ◇東国原英夫氏が宮崎県知事に
- ◇新潟県中越沖地震
- ◇参議院選挙で民主党が第一党
(流行語)
「どげんかせんといかん」「ハニカミ王子」「消えた年金」

担任一覧

31期生	1年	2年	3年
学年主任	有本勢以子	有本勢以子	有本勢以子
1組	加藤 郁夫	山畑須美子	長田 貴史
2組	勝瑞 真美	長田 貴史	山畑須美子
3組	藤田 一孔	仙崎 裕右	村田 知子
4組	岩佐 千晶	藤田 一孔	岩佐 千晶
5組	仙崎 裕右	岩佐 千晶	仙崎 裕右
6組	山畑須美子	勝瑞 真美/藤田 薫	藤田 薫
7組	長田 貴史		

